

事務事業分析シート（平成27年度）

No1

主要事業	事務事業コード	04-05-01	戦略プラン	○協働	○業務	○財務	○人事
事務事業名	図書館施設の管理	部課名	地域文化スポーツ部図書館課	課長名	田窪	担当者名	森（祐）・狩野
						内線	436
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（27年度）	01-01-01	管理費					
事務事業の種類	○新規事業（○27年度 ○26年度）		○建設事業		●それ以外の継続事業		
開始年度	●昭和 ○平成 25年度		根拠	図書館法、荒川区立図書館条例、荒川区立図書館館則			
終期設定	○有 ●無 年度		法令等				
実施基準	○法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準		計画区分	○計画		●非計画	
行政評価事業体系	分野	Ⅱ 子育て教育都市					
	政策	04 心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成					
	施策	13 図書館サービスの充実					
目的	図書館施設の適切な維持管理により施設の長寿命化を図るとともに、安全面での利用者サービスの充実を図る。						
対象者等	図書館利用者						
内容	区立図書館（5館）とサービスステーション（2カ所）の保守及び維持管理業務 ・南千住図書館：南千住6-63-1/敷地面積2,723.96㎡/延床面積2,686.10㎡（建物合計5,270.69㎡） ・荒川図書館：荒川4-27-2/敷地面積2,004.84㎡/延床面積1,165.29㎡ ・尾久図書館：西尾久3-12-12/敷地面積1,328.94㎡/延床面積1,201.82㎡ ・町屋図書館：町屋5-11-18/都営住宅敷地内/延床面積1,045.44㎡ ・日暮里図書館：東日暮里6-38-4/敷地面積893.92㎡/延床面積1,369.66㎡ ・汐入図書サービスステーション：南千住8-12-5-109・113・114/延床面積124.07㎡ ・冠新道図書サービスステーション：西日暮里6-25-14/延床面積181.44㎡						
経過	・昭和37年 3月荒川図書館開館、昭和46年 9月尾久図書館開館、昭和48年 4月旧南千住図書館開館、昭和51年10月町屋図書館開館、昭和54年 6月日暮里図書館開館 ・平成 4年 7月 全館で日曜開館・月曜休館実施 ・平成10年 5月 現南千住図書館開館。南千住図書館で祝日開館実施 ・平成15年 4月 南千住図書館で月曜の祝日開館実施 ・平成16年 9月 地域館の機械警備を実施 ・平成17年 4月 全館で祝日開館実施。南千住図書館の土曜開館時間を19時半まで延長 ・平成19年 9月 汐入サービスステーションを開設（平成22年12月児童拡張、平成25年10月配架拡充） ・平成21年11月 冠新道サービスステーションを開設 ・平成25年 4月 地域館に夜間警備員を配置 ・平成26年 3月 地域館に防犯カメラを設置						
必要性	図書館全体に係る保守・維持管理業務であり、図書館サービスを提供するうえで不可欠である。						
実施方法	（一部委託）（直営の場合 ○常勤 ○非常勤 ○臨時職員）						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移	事項名	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
		予算額	60,489	60,652	58,795	58,456	65,168	64,042
①決算額（27年度は見込み）	54,714	56,560	53,655	57,758	62,204	62,892	81,640	
②人件費等	12,763	12,487	14,397	8,674	13,886	13,724		
③減価償却費		4,358	5,287	3,388	6,084	6,177		
【事務分担量】（%）	219	150	170	105	180	190		
合計（①+②+③）	67,477	73,405	73,339	69,820	82,174	82,793	81,640	
特定財源								
国	0	0	0	0	0	0	0	
都	0	0	0	0	0	0	0	
その他	341	325	228	230	273	0	0	
一般財源	67,136	73,080	73,111	69,590	81,901	82,793	81,640	
実績の推移	事項名	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	入館者数（人）	1,256,398	1,341,244	1,343,444	1,311,706	1,291,384	1,288,224	1,300,000
	個人貸出者数（人）	633,555	671,737	666,490	659,851	652,099	648,657	650,000
	個人総貸出点数（点）	1,927,377	2,000,924	2,009,675	1,959,488	1,910,884	1,882,661	1,900,000
	住基人口（翌年1月1日）	202,414	204,837	205,831	206,457	207,635	209,087	210,000

予算・決算の内訳								
平成25年度（決算）			平成26年度（決算）			平成27年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
需用費	電気・ガス・水道等	29,399	需用費	電気・ガス・水道等	31,278	需用費	電気・ガス・水道等	34,262
委託料	各館設備保守等業務委託	29,232	役務費	電話料・地域館受水槽清掃等	3,705	役務費	電話料・地域館受水槽清掃等	4,327
役務費	電話料・地域館受水槽清掃等	3,573	委託料	各館設備保守業務委託	27,806	委託料	各館設備保守業務委託	29,379
			使用料等	A E D 賃借	104	使用料等	A E D 賃借	13,672

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		24年度	25年度	26年度	27年度 見込み	目標値 (28年度)	
①	貸出点数一点当たりの経費(円)	29	30	33	33	33	経費÷貸出点数
②	区民一人当たり個人総貸出点数(点)	9.5	9.2	9.0	9.1	10	個人総貸出点数÷住基人口
③							

（問題点・課題分析）	<ul style="list-style-type: none"> 各館の老朽化が進んでいる状況の中で、保守・維持管理の経費は年々増加していくことが見込まれる。 荒川区公共建築物中長期改修実施計画及び今後の公共施設のあり方の検討を踏まえ、着実に改修を実行していく。 指標を維持するためには、魅力ある図書館づくりをすすめ、来館者数や貸出点数を増やすことにより、貸出点数一点当たりのコストを削減していく必要がある。 複合施設の開館を踏まえ、図書館全体の維持管理業務の効率化を考慮した契約の更新を検討する必要がある。
	他区の実況 （実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区）

問題点・課題の改善策			
	平成26年度に取り組む具体的な改善内容	平成26年度に実施した改善内容および評価	平成27年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	維持管理業務の効率化を考慮した契約更新	長期継続契約の契約更新の際には、仕様書の内容を再度精査し、各館の保守点検業務の効率化を重視した契約更新を実施した。	複合施設開設後の各館のあり方を踏まえた維持管理業務契約の検討
②			
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
27年度	28年度	
継続	継続	図書館の管理運営にかかる事業であり、継続して実施する。

況議 （会 要 質 問 状）	<ul style="list-style-type: none"> H25予特 尾久図書館の建替えについて H25決特 尾久地域におけるサービスステーションの設置について H26予特 宮前公園の整備に伴う尾久図書館の建替えについて
-------------------------------	---

事務事業分析シート（平成27年度）

No1

主要事業	事務事業コード	04-05-02	戦略プラン	○協働	○業務	○財務	○人事
事務事業名	図書資料の購入		部課名	地域文化スポーツ部図書館課	課長名	田窪	
			担当者名	森（ゆ）	内線	436	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（27年度）	01-02-01	図書購入費					
事務事業の種類	○新規事業（○27年度 ○26年度）		○建設事業		●それ以外の継続事業		
開始年度	●昭和 ○平成 25年度		根拠	荒川区立図書館館則、荒川区立図書館資料取扱			
終期設定	○有 ●無 年度		法令等	規程、荒川区立図書館資料収集要綱			
実施基準	○法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準		計画区分	○計画		●非計画	
行政評価事業体系	分野	Ⅱ 子育て教育都市					
	政策	04 心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成					
	施策	13 図書館サービスの充実					
目的	区民の学習意欲を喚起し、読書活動をより活発化させるため、図書資料を充実し、生涯学習の支援と生活に役立つ図書館を目指す。						
対象者等	図書館利用者						
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・荒川区立図書館資料収集要綱に基づき、生涯にわたる読書活動を推進するため、多様化・高度化するニーズを的確に把握し、積極的に資料を収集し情報を提供している。 ・「これからの図書館調査懇談会」（平成18年度）の提言を受け、平成20年度から全館の収集基準を設け、特色ある図書館づくりを進めている。 【各館の分担収集】 南千住 哲学、宗教、歴史、地理、教育、芸術、地域資料等 荒川 政治、行政、法律、社会、福祉、スポーツ等 尾久 自然科学、医療、言語、海外文学等 町屋 技術、環境、コンピューター、産業、日本文学等 日暮里 経済、財政、民族、外国語図書、アジア等 						
経過	<ul style="list-style-type: none"> ・平成5年度 図書館オンラインシステムの稼動に合わせて、新刊配本を一カ所とし、合同で選択会議を行う集中発注受入方式を導入 ・平成18年度 図書資料収集基準として、荒川区立図書館資料収集要綱を制定（19年3月） ・平成20年度 区立図書館それぞれの地域性に合わせた「特色ある図書館づくり」を目指し、分担収集を実施 						
必要性	利用者の多様化するニーズに的確に対応し、図書館の本質的な機能である資料の提供を担うために、必要な事業である。						
実施方法	（1直営） （直営の場合 ●常勤 ●非常勤 ○臨時職員） 毎週火曜日、各館の代表者による図書の合同選択会議を開催。あらかじめ配本された新刊本の内容を確認しながら、図書館資料収集基準に基づき選書を行い、書店組合荒川支部に発注している。						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移	事項名	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
		予算額	81,108	74,666	76,072	72,662	69,029	69,029
①決算額（27年度は見込み）		72,549	73,048	76,030	71,689	68,407	68,835	70,851
②人件費等		33,153	18,731	19,210	19,339	14,338	12,088	
③減価償却費			9,006	9,797	9,810	6,929	5,689	
【事務分担量】（%）		997	310	315	304	205	175	
合計（①+②+③）		105,702	100,785	105,037	100,838	89,674	86,612	70,851
特定財源								
国		0	0	0	0	0	0	0
都		0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0
一般財源		105,702	100,785	105,037	100,838	89,674	86,612	70,851
実績の推移	事項名	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	図書雑誌蔵書冊数(冊)	737,769	751,425	752,184	760,077	769,836	766,826	770,000
	個人総貸出点数(点)	1,927,377	2,000,924	2,009,675	1,959,488	1,910,884	1,882,661	1,900,000
	図書購入冊数(冊)	44,266	47,554	40,809	37,939	38,675	35,853	36,000
	雑誌購入冊数(冊)	16,536	16,733	16,562	16,305	16,207	15,771	15,000

予算・決算の内訳								
平成25年度（決算）			平成26年度（決算）			平成27年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
需用費	資料等購入費	68,407	需用費	資料等購入費	68,835	需用費	資料等購入費	70,851

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		24年度	25年度	26年度	27年度 見込み	目標値 (28年度)	
標	① 区民一人当り蔵書冊数(冊)	3.7	3.7	3.7	3.7	4.4	蔵書冊数÷住基人口
	② 区民千人当り図書購入冊数(冊)	186	186	171	175	180	年間購入冊数÷住基人口千人
	③ 区民一人当り個人総貸出点数(点)	9.5	9.2	9.0	9.1	10	個人総貸出点数÷住基人口

（問題点・課題 分析）	<ul style="list-style-type: none"> 施設規模の蔵書容量から所蔵数には限界があり、この中で区民の知的好奇心を満たす新鮮で魅力ある書架構成を行うには、図書館職員の選書能力の向上及び図書情報と社会情勢に対する日々の研鑽が重要である。 複合施設「ゆいの森あらかわ」の開設に向けてビジネス支援や医療・健康コーナーなど課題解決型図書館にふさわしい蔵書の充実を図っていく必要がある。
	他区の実況 （実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区）

問題点・課題の改善策			
	平成26年度に取り組む具体的な改善内容	平成26年度に実施した改善内容および評価	平成27年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	医療情報に関するレファレンスに役立つ資料の充実	医療情報の担当者を増員し、保健所との連携を強化するとともに、レファレンス資料を充実させ、パスファインダーを作成した。	保健所との連携をさらに強化し、健康づくりや特定疾病など専門性の高い資料とパスファインダーの充実を図る。
②	最新情報を確認し、時代のニーズにあったビジネス図書を購入する。	BPを定期的に発行し、さらに経営支援課のセミナー向けにも臨時号を発行するなどビジネス図書を積極的にPRした。	地域のビジネスニーズに応じたビジネス図書の充実を図り、BPを継続的に発行し、パスファインダーを作成していく。
③	パターン配本のない図書について、パンフレットや出版情報を確認し、多様な蔵書構成を目指す。	毎週発行されるライブラリィ新刊情報や利用者からのリクエストを参考に、パターン配本にない資料を購入した。	複合施設「ゆいの森あらかわ」の開設に向け、図書館のあり方に合わせた、分担収集の見直しを図る。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
27年度	28年度	
推進	推進	図書館サービスの必須要素である図書資料の充実を図ることは、図書館で優先すべき事業である。

況議 （要 質 問 状）	・H26予特 未返却本、持去り本への対応について
--------------------------	--------------------------

事務事業分析シート（平成27年度）

No1

主要事業	事務事業コード	04-05-03	戦略プラン	<input type="checkbox"/> 協働	<input type="checkbox"/> 業務	<input type="checkbox"/> 財務	<input type="checkbox"/> 人事												
事務事業名	視聴覚サービス	部課名	地域文化スポーツ部図書館課	課長名	田窪														
		担当者名	本宮・梶		内線	436													
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（27年度）	01-02-02	視聴覚費																	
事務事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規事業（ <input type="checkbox"/> 27年度 <input type="checkbox"/> 26年度）		<input type="checkbox"/> 建設事業		<input checked="" type="checkbox"/> それ以外の継続事業														
開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 昭和 <input type="checkbox"/> 平成	37年度	根拠	図書館法第3条、荒川区立図書館館則第2条															
終期設定	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	年度	法令等																
実施基準	<input type="checkbox"/> 法令基準内 <input type="checkbox"/> 都基準内 <input checked="" type="checkbox"/> 区独自基準		計画区分	<input type="checkbox"/> 計画		<input checked="" type="checkbox"/> 非計画													
行政評価事業体系	分野	Ⅱ 子育て教育都市																	
	政策	04 心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成																	
	施策	13 図書館サービスの充実																	
目的	図書館において、視聴覚資料を提供し、利用者サービスの充実を図る。																		
対象者等	図書館利用者																		
内容	<p><input type="checkbox"/> 16ミリ映写機検査（年1回）</p> <p><input type="checkbox"/> 視聴覚資料（CD・カセットテープ・DVD）の購入と貸出</p> <p><input type="checkbox"/> 各種消耗品の購入（CDケース・CD貸出袋・CD仕切版、16ミリ映写機用消耗品、ビデオテープ用消耗品等）</p> <p>【平成26年度視聴覚資料の貸出数】</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding: 0 20px;">CD</td> <td style="padding: 0 20px;">185,183点</td> <td style="padding: 0 20px;">ビデオテープ</td> <td style="padding: 0 20px;">2,539点</td> </tr> <tr> <td>カセットテープ</td> <td>2,724点</td> <td>16ミリフィルム</td> <td>52点</td> </tr> <tr> <td>DVD</td> <td>19,952点</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							CD	185,183点	ビデオテープ	2,539点	カセットテープ	2,724点	16ミリフィルム	52点	DVD	19,952点		
CD	185,183点	ビデオテープ	2,539点																
カセットテープ	2,724点	16ミリフィルム	52点																
DVD	19,952点																		
経過	<p>昭和45年度 16ミリフィルムの貸出実施</p> <p>昭和61年度 CDの貸出実施</p> <p>昭和63年度 16ミリ映写機の検定実施</p> <p>平成10年度 16ミリ映写機の操作講習会が社会教育課から図書館に移管</p> <p>平成18年度 16ミリ映写機の操作講習会を受講者実績の減少により休止</p> <p>平成18年度 DVDの貸出実施</p>																		
必要性	図書館が、図書以外の資料として視聴覚資料を①教育的利用②鑑賞的利用③趣味的利用を目的として提供することは、より多くの利用者に対するサービスの充実を図るため必要である。																		
実施方法	(1直営) (直営の場合 <input checked="" type="checkbox"/> 常勤 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 <input type="checkbox"/> 臨時職員)																		
	<p><input type="checkbox"/> 16ミリ映写機の検定：年1回専門技術者による点検・整備を図書館で実施</p> <p><input type="checkbox"/> CD・DVDの購入：毎月1回、各図書館の担当者からなる選定会議を開催し、新譜リスト等により選定</p>																		

（単位：千円）

予算・決算額等の推移		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	予算額		10,720	9,816	8,441	8,034	7,291	7,371
①決算額（27年度は見込み）		9,652	8,443	8,296	7,865	7,215	7,236	6,781
②人件費等		9,197	4,639	4,507	1,239	1,663	1,545	
③減価償却費			1,743	1,866	484	676	650	
【事務分担量】（%）		213	60	60	15	20	20	
合計（①+②+③）		18,849	14,825	14,669	9,588	9,554	9,431	6,781
特定財源の推移	国	0	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	18,849	14,825	14,669	9,588	9,554	9,431	6,781
実績の推移	事項名	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	16ミリ映写機検定実施台数(台)	41	31	29	31	14	10	9
	視聴覚資料所蔵点数(点)	46,610	46,614	47,166	47,859	48,839	47,646	47,000
	DVD所蔵点数(点)	726	898	1,090	1,240	1,387	1,535	1,600
	ビデオ所蔵点数(点)	3,111	3,050	3,020	2,747	2,676	2,594	2,500

予算・決算の内訳								
平成25年度（決算）			平成26年度（決算）			平成27年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
需用費	C D等購入	7,189	需用費	C D等購入	7,204	需用費	C D等購入	6,751
報償費	16ミリ映写機検査技師謝礼	26	委託料	16ミリ映写機検査技師謝礼	32	委託料	16ミリ映写機検査技師謝礼	30

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		24年度	25年度	26年度	27年度 見込み	目標値 (28年度)	
①	DVD移行率（%）	45.1	57.1	59	60	65	DVD所蔵数÷ビデオ所蔵数
②	区民一人当り視聴覚資料個人貸出点数（点）	1.2	1.1	1.0	1.0	1.2	視聴覚資料個人貸出点数÷住基人口
③	区民千人当り視聴覚資料所蔵点数（点）	232	235	227	230	230	視聴覚資料所蔵点数÷住基人口千人

（問題点・課題分析）	<ul style="list-style-type: none"> ・視聴覚資料のリクエストは、最新のJポップスや娯楽映画に集中することが予想されるため、受け付けていないが、区民のニーズに対応しつつ、様々なジャンルの幅広い収集に努める必要がある。 ・カセットテープの販売数減少やビデオテープの販売終了、ブルーレイディスク（BD）や音楽のダウンロードの普及など視聴覚資料の発行形態の技術的変化に対応していく必要がある。 ・16ミリ映写機については、現在では部品の製造が行われていないため、故障した場合は修理ができない場合がある。
	他区の実況 （実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区）

問題点・課題の改善策			
	平成26年度に取り組む具体的な改善内容	平成26年度に実施した改善内容および評価	平成27年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	古くなった16ミリフィルムの取扱いを検討する。 （旧教育指導要領にのっとったもの、劣化したもの）	古くなった16ミリフィルムを活用するため、イベント企画し、上映会を実施した。	貴重な地域資料の劣化防止を検討する。
②	地域資料となりうる視聴覚資料の洗い出しを実施する。	地域資料となりうる吉村昭講演録や演歌「三ノ輪橋」などの保存を実施した。	複合施設の開設に向けた地域資料となる視聴覚資料を充実させる。
③	多様化する音響資料の情報収集を実施する。	技術革新により多様化する音響資料について、視聴やメーカーの問合せを行い情報収集を実施した。	多様化する音響資料の活用策等を検討する。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
27年度	28年度	
推進	推進	図書館サービスの基盤である資料の充実を図るため、優先度の高い事業である。

況議 （要 質 問 状）	H24決特 16ミリフィルムの運用について
--------------------------	-----------------------

事務事業分析シート（平成27年度）

No1

主要事業	事務事業コード	04-05-04	戦略プラン	○協働	○業務	○財務	○人事
事務事業名	障がい者サービス	担当者名	中田・梶	部課名	地域文化スポーツ部図書館課	課長名	田窪
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（27年度）	01-02-03	障がい者サービス費					
事務事業の種類	○新規事業（○27年度 ○26年度）		○建設事業		●それ以外の継続事業		
開始年度	●昭和 ○平成 56年度		根拠	荒川区立図書館館則第2条			
終期設定	○有 ●無 年度		法令等	荒川区障がい者プラン			
実施基準	○法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準		計画区分	○計画		●非計画	
行政評価事業体系	分野	Ⅱ 子育て教育都市					
	政策	04 心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成					
	施策	13 図書館サービスの充実					
目的	視覚障がい者に対する録音図書・点字図書の充実など、障がいのある利用者へのサービス向上に努める。						
対象者等	障がいや高齢者等の理由により、図書館利用が困難な区民						
内容	<p>【図書資料の宅配サービス】 何らかの障がいにより、図書館への来館が困難な方を対象に、職員が図書資料（本・カセット・CD・ビデオ・DVD録音図書）を自宅まで配達。貸出期間は1カ月</p> <p>【対面音訳サービス】 活字資料の利用が困難な方に、対面音訳者が必要な図書資料をその場で読むサービス</p> <p>【その他のサービス】 区内の福祉施設（のぞみの会・ひまわり作業所等）への団体貸出の実施。福祉まつりへの参加</p> <p>【録音図書の製作と貸出】 利用者からのリクエストや職員が選んだ図書を音声化して作成する。音訳はボランティアに依頼しており、内容の録音、校正を経て完成させる。平成20年度からはデージー図書の作成を開始 また、録音技術の習得と向上を目的とした音訳者養成講座を実施している。</p>						
経過	<p>昭和56年12月 「図書館利用に障がいのある人々へのサービスの基本計画」を策定</p> <p>昭和57年 4月 昭和56年の国際障害者年を契機に障がい者サービス事業を検討し、家庭配本・対面朗読（現在は「対面音訳」）開始</p> <p>昭和58年10月 カセットテープによる録音図書の貸出を開始</p> <p>昭和59年 1月 点字図書作成開始</p> <p>平成18年 デージー図書貸出開始、障害者自立支援法完全施行</p> <p>平成23年 3月 日本点字図書館が図書貸出を終了</p>						
必要性	社会参加や情報バリアフリーの促進のため、何らかの障がいのある方に、より多くの図書館資料を提供する必要がある。 録音図書のデージー化は利便性・耐久性に優れており、利用者のサービス向上にも繋がる事業である。						
実施方法	（1直営）（直営の場合 ●常勤 ●非常勤 ○臨時職員） 点字図書・録音図書の作成：ボランティア（養成講座修了者及び受講者）に協力いただいて作成 音訳者養成講座：音訳者としてのレベルアップを図るため、外部から講師を呼び実施						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移	事項名	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
		予算額	3,408	3,105	3,237	2,143	1,353	1,361
①決算額（27年度は見込み）		2,389	2,331	2,522	1,523	1,222	1,141	1,335
②人件費等		2,094	1,744	3,388	3,717	4,159	3,863	
③減価償却費			581	1,244	1,452	1,690	1,626	
【事務分担量】（%）		46	20	40	45	50	50	
合計（①+②+③）		4,483	4,656	7,154	6,692	7,071	6,630	1,335
特定財源の推移	国	0	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	4,483	4,656	7,154	6,692	7,071	6,630	1,335
実績の推移	事項名	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	宅配サービス実績回数（回）	707	412	395	339	369	353	370
	HS登録者数（人）	131	120	117	121	114	114	120
	HS資料個人貸出点数（点）	2,604	2,273	2,239	1,871	2,249	2,112	2,200

予算・決算の内訳								
平成25年度（決算）			平成26年度（決算）			平成27年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
報償費	音訳者養成講座講師謝礼	559	報償費	音訳者養成講座講師謝礼	453	報償費	音訳者養成講座講師謝礼	622
需用費	デージー図書等	403	需用費	デージー図書等	447	需用費	デージー図書等	467
委託料	講習会委託	200	委託料	講習会委託	200	委託料	講習会委託	206
負担金補助等	サピエ利用料	40	負担金補助等	サピエ利用料	40	負担金補助等	サピエ利用料	40
役務費	郵送料	20						

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		24年度	25年度	26年度	27年度 見込み	目標値 (28年度)	
標	① 障がい者利用登録者率（％）	6.2	5.7	5.0	6.0	7.0	HS登録者数÷対象者数（肢体不自由及び視覚障がい1・2級）
	② デージー図書貸出普及率（％）	61.1	92.0	96.8	98.0	98.0	DAISY図書貸出点数÷録音図書貸出点数
	③ HS登録者一人当たりのHS所蔵点数（点）	24.4	26.3	26.4	25.4	25.5	HS資料所蔵点数÷HS登録者数

（問題点・課題分析）	<ul style="list-style-type: none"> 録音図書作成に伴う音訳・校正・編集等の専門スキル修得のための区民向け講座・研修を開催しており、今後も継続的かつ積極的に音訳者の養成を行っていく必要がある。 録音図書利用者の高齢化に伴い、デージー図書再生機の操作説明をきめ細かく行っていく必要がある。 全国視覚障害者情報提供施設協会が運営しているサピエに加盟し、デージー図書をダウンロードし活用している。サピエで提供されているデージー図書と併用しながら、図書館独自でもデージー図書を作成していく。
	他区の実況 （実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区）

問題点・課題の改善策			
	平成26年度に取り組む具体的な改善内容	平成26年度に実施した改善内容および評価	平成27年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	利用案内や目録等を活用し、利用者の拡大に努める。	宅配サービスについて積極的にPRし、前年度より利用者の拡大を図った。	高齢者の増加が見込まれるため、利用案内を活用し、利用者の拡大に努める。
②	音訳者講座参加者を、新しい音訳者として育成していく。	音訳者養成講座の中級講座に加えデージー編集講習会も開催し、ボランティアの育成を図った。	養成講座に参加した方が、自主的に活動を行えるように育成していく。
③	デージー図書等、サービスを必要としている利用者のために資料を充実させる。	図書館独自でデージー図書を作成する他、市販のデージー図書を購入するなど資料の充実に努めた。	今後もサービスを必要とする利用者のためにさらなる資料の充実に努める。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
27年度	28年度	
推進	推進	障がい者サービスを充実させるため、優先度の高い事業である。

況議（会質問状）	
----------	--

事務事業分析シート（平成27年度）

No1

主要事業	事務事業コード	04-05-05	戦略プラン	○協働	○業務	○財務	○人事
事務事業名	図書館オンラインシステム	部課名	地域文化スポーツ部図書館課	課長名	田窪	担当者名	本宮
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（27年度）	01-02-04	図書館オンラインシステム					
事務事業の種類	○新規事業（○27年度 ○26年度）		○建設事業		●それ以外の継続事業		
開始年度	○昭和 ●平成 5年度		根拠	荒川区個人情報保護条例、荒川区電子情報システム管理運営規程			
終期設定	○有 ●無 年度		法令等				
実施基準	○法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準		計画区分	○計画		●非計画	
行政評価事業体系	分野	Ⅱ 子育て教育都市					
	政策	04 心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成					
	施策	13 図書館サービスの充実					
目的	図書館オンラインシステムを活用することで、図書館の業務（蔵書管理・貸出返却・予約等）の運営を円滑にし、利用者の利便性の向上を図る。						
対象者等	図書館利用者						
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区立図書館5館及び図書サービスステーション2カ所を結んだオンラインシステムにより、資料選択、発注、受入、回送等の一連の業務を集中発注方式で処理 ・ 利用者は、どこの館でも貸出、返却、予約等ができ、携帯電話や自宅のパソコンからも、資料の検索や予約、予約・貸出状況の確認、貸出延長などの手続きが可能。 ・ 現行システムの機器リースは平成27年3月31日まで（サーバ機器6台、端末装置67台、プリンター14台、レシートプリンター50台、ハンディ端末12台等）。 ・ 約2年間の再リースを経て、複合施設の開館に合わせた時期に新たな図書館システムに更新する予定である。 ・ 新しい図書館システムは、I Cタグとその周辺機器の導入や書影の表示、多言語表記、全文検索エンジンの搭載など、様々な利用者サービスの拡充を検討。 						
経過	<p>平成10年 5月 1日 南千住図書館開館（祝日開館実施）</p> <p>平成11年 4月 10日 図書館コンピュータ新システム稼動</p> <p>平成13年 7月 7日 インターネットによる資料の検索・予約サービス開始、図書館ホームページ開設</p> <p>平成14年 2月 18日 携帯での検索・予約サービス、インターネットによる貸出・予約照会サービス開始</p> <p>平成14年 9月 8日 南千住図書館で無線LANインターネットサービス開始</p> <p>平成15年 7月 1日 全館で無線LANインターネットサービス開始</p> <p>平成16年 4月 1日 図書館コンピュータ新システム稼動</p> <p>平成16年 4月 3日 パスワード・メールアドレス登録、予約確保時連絡メール自動送信、メール督促開始</p> <p>平成18年 7月 14日 全館でノートPCに加えてデスクトップPCによるインターネットサービス開始</p> <p>平成21年 3月 1日 全館で無線LAN規制ソフト導入</p> <p>平成22年 4月 3日 オンラインシステムリプレイス・HPリニューアル</p>						
必要性	区立図書館資料の管理・貸出等の業務はすべて図書館オンラインシステムにより集中管理しているため、必要不可欠な機能である。						
実施方法	（一部委託）（直営の場合 ○常勤 ○非常勤 ○臨時職員） 図書館オンラインシステムの維持管理は、直営で対応しているが、システム関連機器の保守や配本車の運行、マーク購入、専用回線の利用などは、専門の業者と個別に契約し運営している。						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移	事項名	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
		予算額	53,094	49,681	51,506	50,455	47,908	52,303
①決算額（27年度は見込み）		51,768	45,468	48,949	47,909	46,778	49,770	41,909
②人件費等		34,425	16,028	17,969	11,152	17,632	16,609	
③減価償却費			7,117	8,708	4,356	7,166	6,990	
【事務分担量】（%）		1,084	245	280	135	212	215	
合計（①+②+③）		86,193	68,613	75,626	63,417	71,576	73,369	41,909
特定財源								
国		0	0	0	0	0	0	0
都		0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0
一般財源		86,193	68,613	75,626	63,417	71,576	73,369	41,909
実績の推移								
	個人登録者数（人）	53,769	55,566	55,280	54,289	53,391	52,737	53,500
	パスワード登録者数（人）	16,728	18,134	18,356	19,618	19,618	20,012	20,500
	予約登録点数（点）	500,626	562,336	585,183	590,556	586,058	577,807	580,000
	WEB予約登録点数（点）	351,383	406,774	431,433	441,312	441,949	441,139	442,000

予算・決算の内訳								
平成25年度（決算）			平成26年度（決算）			平成27年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
委託料	システム機器等保守	18,169	需用費	利用者カード等印刷製本	3,982	需用費	利用者カード等印刷製本	5,559
使用料等	システム機器等賃借	13,083	役務費	配本車運行等	11,444	役務費	配本車運行等	12,359
役務費	配本車運行等	10,558	委託料	システム機器等保守	19,350	委託料	システム機器等保守	21,637
需用費	利用者カード等印刷製本	4,609	使用料等	システム機器等賃借	13,083	使用料等	システム機器等賃借	2,354
賃金	臨時職員賃金	359	備品購入費	貸出用PC等	1,912			

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		24年度	25年度	26年度	27年度 見込み	目標値 (28年度)	
①	パスワード登録者の割合(%)	36.1	36.7	37.9	39.0	40	パスワード登録者÷個人登録者数
②	インターネット予約の割合(%)	74.7	75.1	76.3	78.0	80	インターネット予約登録点数÷予約登録点数
③							

（問題点・課題分析）	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい図書館システムでは、これまでのバーコードを用いたカウンター職員による貸出管理から、自動認識装置を活用した利用者自身による貸出管理に移行する。 ・図書館システムのネットワークインフラについては、荒川区の情報系システムのインターネットデータセンターに設置し、情報資源の共有化を図ることが課題となっている。 ・機能面では、資料の書影表示や全文検索エンジンの導入、多言語表記に対応するとともに、吉村昭氏の作品を中心とした地域情報のデジタルアーカイブ及びデジタルサイネージを構築する。 ・利用者による予約の迅速性の向上を積極的にPRすることにより、インターネット予約の普及を図る。
	他区の実況 （実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区）

問題点・課題の改善策			
	平成26年度に取り組む具体的な改善内容	平成26年度に実施した改善内容および評価	平成27年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	新図書館システムの調査研究	メーカー主催のシステム研究会等への参加やシステムデモレーションを依頼し、情報収集を行った。	新図書館システムの選定 ・内容検討 ・プロポーザルの実施 新図書館システムの開発
②			
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
27年度	28年度	
推進	重点的に推進	新システムの導入に伴って、利用者の利便性向上を図り効率的なサービスを提供するための改善・見直しを実施していく。

況議 （要質 問状）	H14三定 インターネット予約時の順番がわかるようにすることについて
------------------	------------------------------------

事務事業分析シート（平成27年度）

No1

主要事業	事務事業コード	04-05-06	戦略プラン	○協働	○業務	○財務	○人事
事務事業名	子ども読書活動推進計画事業		部課名	地域文化スポーツ部図書館課	課長名	田窪	
			担当者名	中嶋	内線	436	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（27年度）	01-02-05	子ども読書活動推進計画事業費					
事務事業の種類	○新規事業（○27年度 ○26年度）		○建設事業		●それ以外の継続事業		
開始年度	○昭和 ●平成 18年度		根拠	子どもの読書活動の推進に関する法律			
終期設定	○有 ●無 年度		法令等				
実施基準	○法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準		計画区分	●計画		○非計画	
行政評価事業体系	分野	Ⅱ 子育て教育都市					
	政策	04 心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成					
	施策	13 図書館サービスの充実					
目的	子どもたちの読書環境を整備し、自主的な読書活動を支援することにより、子どもたちが「本に親しむ」きっかけを増やす。						
対象者等	区民全体						
内容	<p>平成18年4月に策定された「荒川区子ども読書活動推進計画」及び平成23年に10月に策定された「荒川区子ども読書活動推進計画（第二次）」に基づき、家庭・地域、学校、図書館が連携して以下の事業を行う。</p> <p>1. 家庭での読書活動に対する支援と地域における読書環境の整備 ブックスタート、おはなし会、出産を迎える方々への読み聞かせ講習会、ボランティア養成講座、団体貸し出しの充実、子ども読書活動推進PRの実施等</p> <p>2. 小・中学校における取り組み 学校図書館との連携強化、図書館職員による新小学一年生を対象にした学校訪問等</p> <p>3. 区立図書館における取り組み 0歳から18歳までの子どもの発達段階に応じた読書活動を支援する。 体験型おはなし会の実施、10代の子どものに向けた参加型イベント、柳田邦男絵本大賞</p>						
経過	<p>平成18年 4月 「荒川区子ども読書活動推進計画」策定</p> <p>平成19年12月 「荒川区子ども読書活動推進計画」に基づき、第一回あらかわ子ども読書フェスティバル実施</p> <p>平成20年 7月 第一回柳田邦男絵本大賞を創設</p> <p>平成21年 1月 第二回あらかわ子ども読書フェスティバル実施。第一回柳田邦男絵本大賞を表彰</p> <p>平成22年 1月 第三回あらかわ子ども読書フェスティバル実施。第二回柳田邦男絵本大賞を表彰</p> <p>平成23年 1月 第四回あらかわ子ども読書フェスティバル実施。第三回柳田邦男絵本大賞を表彰</p> <p>平成23年10月 「荒川区子ども読書活動推進計画（第二次）」策定</p> <p>平成24年 1月 第五回あらかわ子ども読書フェスティバル実施。第四回柳田邦男絵本大賞を表彰</p> <p>平成25年 1月 第五回柳田邦男絵本大賞を表彰（単独開催）</p> <p>平成26年 1月 第六回柳田邦男絵本大賞を表彰</p> <p>平成27年 1月 第七回柳田邦男絵本大賞を表彰</p>						
必要性	子どもたちの読書離れの改善、読書力や国語力向上のため、必要である。						
実施方法	(1直営) (直営の場合 ●常勤 ●非常勤 ○臨時職員)						

(単位：千円)

予算・決算額等の推移		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	予算額		5,811	4,872	5,936	7,009	6,306	6,118
①決算額（27年度は見込み）		4,307	3,898	4,581	5,826	5,367	5,857	5,091
②人件費等		8,318	9,523	14,460	8,079	12,042	9,318	
③減価償却費			4,358	6,998	5,325	7,098	5,527	
【事務分担量】（%）		212	150	225	165	210	170	
合計（①+②+③）		12,625	17,779	26,039	19,230	24,507	20,702	5,091
特定財源の推移	国	0	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	12,625	17,779	26,039	19,230	24,507	20,702	5,091
実績の推移	事項名	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	講演会(児童・10代)参加人数(人)	41	57	16	—	—	—	—
	ボランティア養成講座参加人数(人)	140	148	164	112	140	113	120
	講習会(読み聞かせ等)参加人数(人) (24年度から布絵本の講習会開始)	24	16	16	33	37	37	40

予算・決算の内訳								
平成25年度（決算）			平成26年度（決算）			平成27年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
需用費	消耗品、印刷製本費	4,686	報償費	講演会等講師謝礼	659	報償費	講演会等講師謝礼	819
報償費	講演会等講師謝礼	600	需用費	消耗品、印刷製本費	5,111	需用費	消耗品、印刷製本費	4,021
使用料等	会場使用料	50	役務費	筆耕等	32	役務費	筆耕等	32
役務費	筆耕等	31	使用料等	会場使用料	55	使用料等	会場使用料等	58
						備品購入費	紙芝居架等	161

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		24年度	25年度	26年度	27年度 見込み	目標値 (28年度)	
標	① 区立図書館における区内小学生の利用者登録率(%)	65.6	64.5	63.7	65.0	70	子ども読書活動の事業を展開し、7割近い登録をめざす。
	② 区立図書館における区内中学生の利用者登録率(%)	61.5	62.8	63.2	65.0	70	子ども読書活動の事業を展開し、7割近い登録をめざす。
	③						

（問題点・課題分析）	<ul style="list-style-type: none"> 関係各課との連携を図り、第三次荒川区子ども読書活動推進計画を策定するとともに、従来の計画事業を確実に進める必要がある。 柳田邦男絵本大賞については、広報を工夫し、更なる周知を図り、応募者拡大を図る。 4月23日の「子ども読書の日」や10月27日の「文字・活字文化の日」にちなんだ効果的な読書に関する啓発活動を行い、生涯を通じた読書活動の意義を積極的にPRする必要がある。
	他区の実況 （実施 20 区 未実施 2 区 不明 0 区） 未実施の2区は、区独自の計画にて読書活動を推進している。

問題点・課題の改善策			
	平成26年度に取り組む具体的な改善内容	平成26年度に実施した改善内容および評価	平成27年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	学校図書館だよりを公立図書館で掲示するなど、区内小中学校・学校図書館との連携強化を図る。	学校図書館との連携強化を図るため、年4回開催される学校司書研修兼連絡会に図書館職員も全回参加した。	関連部署も含めて策定委員会を開催し、生涯を通じた読書活動を支援する第三次荒川区子ども読書活動推進計画を策定する。
②	小学校高学年を対象とした企画を検討する。	ティーンズイベントの中で、初めてビブリオバトルを開催し、参加者から好評であった。	表彰式のあり方も含め、柳田邦男絵本大賞のさらなる充実を図る。
③	職員の絵本に関する資質や能力を高めるため、絵本専門士養成講座の受講を支援する。	職員の絵本に関する資質や能力を高めるため、絵本専門士養成講座を職員1名が受講した。	絵本専門士を中心に、複合施設開館に向け、絵本の選書、絵本に関する取組等について推進する。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
27年度	28年度	
重点的に推進	重点的に推進	子どもの読書離れの改善、国語力や読書力の向上のために、きわめて優先度の高い事業である。

況議 （要 質 問 状）	
--------------------------	--

事務事業分析シート（平成27年度）

No1

主要事業	事務事業コード	04-05-07	戦略プラン	○協働	○業務	○財務	○人事
事務事業名	図書館の運営		部課名	地域文化スポーツ部図書館課	課長名	田窪	
			担当者名	薄場	内線	436	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（27年度）	01-03-01	図書館事務費					
事務事業の種類	○新規事業（○27年度 ○26年度）		○建設事業		●それ以外の継続事業		
開始年度	●昭和 ○平成 25年度		根拠	図書館法、文字・活字文化振興法、荒川区立図書館館則			
終期設定	○有 ●無 年度		法令等				
実施基準	○法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準		計画区分	○計画		●非計画	
行政評価事業体系	分野	Ⅱ 子育て教育都市					
	政策	04 心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成					
	施策	13 図書館サービスの充実					
目的	図書館運営を適切に実施することにより、図書館の快適性を維持し、利用を促進する。						
対象者等	図書館利用者						
内容	<p>○区立図書館各館の運営や事業に必要な臨時職員雇用、消耗品購入、利用案内の作成、コピーサービス等を実施。</p> <p>○非常勤職員設置状況（平成27年4月1日現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南千住図書館 非常勤職員28名配置（上級主任2名、主任6名、上級8名） ・荒川図書館 非常勤職員14名配置（上級主任1名、主任2名、上級6名） ・尾久図書館 非常勤職員13名配置（上級主任1名、主任3名、上級1名） ・町屋図書館 非常勤職員13名配置（上級主任1名、主任1名、上級3名） ・日暮里図書館 非常勤職員18名配置（上級主任1名、主任4名、上級4名） <p>合計86名（上級主任6名、主任16名、上級22名）</p>						
経過	<p>昭和37年 3月 現荒川図書館開館 昭和46年 9月 尾久図書館開館 昭和48年 4月 旧南千住図書館開館</p> <p>昭和51年10月 町屋図書館開館 昭和54年 6月 日暮里図書館開館</p> <p>昭和56年 4月 開館時間が9時半～19時半となる。</p> <p>平成 4年 5月 日暮里図書館に吉村昭コーナー設置（平成16年9月より全館で開設）</p> <p>平成 4年 7月 全館で日曜開館・月曜休館実施</p> <p>平成10年 5月 現南千住図書館開館。南千住図書館で祝日開館実施。</p> <p>平成13年度より全館で非常勤職員を採用</p> <p>平成17年 4月 全館で祝日開館実施。南千住図書館の土曜開館時間を19時半まで延長</p> <p>平成19年 9月 汐入サービスステーション開設（平成22年12月児童拡張、平成25年10月配架拡充）</p> <p>平成21年11月 冠新道図書サービスステーション開設</p>						
必要性	区民の読書推進と図書館利用の促進のため、直営を維持し、今後も図書館サービスを充実する必要がある。						
実施方法	(1直営) (直営の場合 ●常勤 ●非常勤 ●臨時職員)						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	予算額		17,516	16,125	15,991	17,229	17,925	16,813
①決算額（27年度は見込み）		16,458	14,733	14,643	16,011	16,778	15,832	19,217
②人件費等		15,168	15,749	15,307	25,170	28,893	28,805	
③減価償却費			6,827	7,309	16,425	22,984	22,757	
【事務分担量】（%）		329	235	235	509	680	700	
合計（①+②+③）		31,626	37,309	37,259	57,606	68,655	67,394	19,217
特定財源の推移	国	0	0	0	0			
	都	0	0	0	0			
	その他	1,018	1,079	839	712			
	一般財源	30,608	36,230	36,420	56,894	68,655	67,394	19,217
実績の推移	事項名	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	入館者数（人）	1,256,398	1,241,244	1,343,444	1,311,706	1,291,384	1,288,224	1,300,000
	個人総貸出点数（点）	1,927,377	2,000,924	2,009,675	1,959,488	1,910,884	1,882,661	1,900,000
	住基人口（翌年1月1日）	202,414	204,837	205,831	206,457	207,635	209,087	210,000

予算・決算の内訳								
平成25年度（決算）			平成26年度（決算）			平成27年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
賃金	臨時職員賃金	12,621	賃金	臨時職員賃金	12,682	賃金	臨時職員賃金	16,244
需用費	館運営消耗品印本	1,846	報償費	朗読会講師謝礼	100	旅費	近接地内旅費	113
使用料等	複写機賃借料等	984	旅費	近接地内旅費	48	需用費	館運営消耗品印本	1,715
備品購入費	防犯カメラ等	964	需用費	館運営消耗品印本	1,463	委託料	地域資料等補修委託	476
委託料	地域資料等補修委託	283	委託料	地域資料等補修委託	198	使用料等	複写機賃借料等	507
負担金補助等	日本図書館協会会費等	51	使用料等	複写機賃借料等	1,129	負担金補助等	日本図書館協会会費等	162
旅費	近接地内旅費	29	備品購入費	プロジェクター等	40			

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		24年度	25年度	26年度	27年度 見込み	目標値 (28年度)	
①	入館者一人当たりの経費(円)	12.2	13.0	12.3	12.0	12.0	経費÷入館者数
②	区民一人当り個人総貸出点数(点)	9.5	9.2	9.0	9.1	10.0	個人総貸出点数÷住基人口
③							

問題点・課題 (指標分析)	<ul style="list-style-type: none"> ・多様化するニーズを的確に把握し、充実した図書館サービスを提供するため、複合施設開館に合わせて開館日、時間等を検討する必要がある。 ・区内全域に図書館サービスを行き届かせるため、新たなサービスの検討を進めるほか、複合施設「ゆいの森あらかわ」の開館後の利用状況等も含め、特色ある図書館運営のため、図書館全体のあり方についても検討していく。 ・ビブリオバトルや選書ツアー等、読書活動を促進する新たな企画を検討する必要がある。 ・図書館におけるボランティア活動を充実していく。
	他区の実況 （実施 6 区 未実施 16 区 不明 0 区） 非常勤職員制度導入区：6区（千代田・品川・大田・中野・北・板橋） 指定管理者導入区：10区（千代田・港・新宿・文京・大田・杉並・板橋・練馬・足立・江戸川） 窓口業務委託実施区：20区（未実施区：千代田・新宿・荒川）

問題点・課題の改善策			
	平成26年度に取り組む具体的な改善内容	平成26年度に実施した改善内容および評価	平成27年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	利用者アンケートを実施し、利用者のニーズを把握し、図書館サービスの向上に努める。	利用者アンケートを実施し、利用者のニーズを把握し、飲食スペースの設置など、サービスの向上を図った。	新たなサービスの提供や利用者のニーズに沿った図書館運営を検討する。
②	職員の選書能力や企画運営力、資質向上のための館内外研修を充実させる。	職員のレファレンス能力や、企画運営力、資質向上のための館外研修に参加した。	職員の人事評価制度や選書能力・資質向上のための館内外研修の充実させる。
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
27年度	28年度	
継続	継続	図書館の管理運営にかかる事業であり、継続して実施する。

況議 (要質 問状)	H26予特 H27予特	図書館職員の意識改革について 荒川区内の図書館の適正配置と図書館が遠い地域へのサービス展開について
------------------	----------------	--

事務事業分析シート（平成27年度）

No1

主要事業	事務事業コード	04-05-08	戦略プラン	○協働	○業務	○財務	○人事
事務事業名	図書館施設の修繕		部課名	地域文化スポーツ部図書館課	課長名	田窪	
			担当者名	森（祐）・狩野	内線	436	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（27年度）	01-04-01	営繕費（一般分）					
事務事業の種類	○新規事業（○27年度 ○26年度）			○建設事業		●それ以外の継続事業	
開始年度	●昭和 ○平成 37年度		根拠				
終期設定	○有 ●無 年度		法令等				
実施基準	○法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準		計画区分	○計画		●非計画	
行政評価事業体系	分野	Ⅱ 子育て教育都市					
	政策	04 心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成					
	施策	13 図書館サービスの充実					
目的	図書館施設の適切な維持管理を行い、建物の長寿命化を図ると共に、安全面での利用者サービスの向上を図る。						
対象者等	図書館利用者						
内容	図書館施設の建物修繕経費を計上 平成26年度の修繕内容 ・南千住図書館 ブラインド修繕ほか 全15件 2,393,107円 ・荒川図書館 換気扇修繕ほか 全11件 823,542円 ・尾久図書館 点字タイル修繕ほか 全8件 855,024円 ・町屋図書館 トイレ排水溝修繕ほか 全9件 717,875円 ・日暮里図書館 汚水槽、フロート修繕ほか 全19件 1,580,330円						
経過	昭和37年 3月 荒川図書館開設 昭和46年 9月 尾久図書館開設 昭和51年10月 町屋図書館開設 昭和54年 6月 日暮里図書館開設 平成10年 5月 南千住図書館開設 平成19年 9月 汐入図書サービスステーション開設 平成21年11月 冠新道図書サービスステーション開設 平成22年12月 汐入図書サービスステーションの拡張 平成25年10月 汐入図書サービスステーションの拡充						
必要性	建物の老朽化が進む中で、施設を維持するためには不可欠な経費である。						
実施方法	（一部委託） （直営の場合 ○常勤 ○非常勤 ○臨時職員） 各館の破損状況等に応じ、業者委託により実施						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	予算額		7,355	15,016	6,921	7,285	7,630	6,972
①決算額（27年度は見込み）		5,999	14,773	6,182	6,230	6,917	6,370	6,833
②人件費等		5,579	5,668	7,622	5,783	6,654	5,408	
③減価償却費			1,888	2,799	2,259	2,704	2,276	
【事務分担量】（%）		100	65	90	70	80	70	
合計（①+②+③）		11,578	22,329	16,603	14,272	16,275	14,054	6,833
特定財源の推移	国	0	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	11,578	22,329	16,603	14,272	16,275	14,054	6,833
実績の推移	事項名	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	全館修繕総件数(件)	56	74	63	63	61	62	62
	入館者数(人)	1,256,398	1,341,244	1,343,444	1,311,706	1,291,384	1,288,224	1,300,000

予算・決算の内訳								
平成25年度（決算）			平成26年度（決算）			平成27年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
需用費	南千住図書館	848	需用費	南千住図書館	2,393	需用費	南千住図書館	2,649
	荒川図書館	2,388		荒川図書館	824		荒川図書館	1,019
	尾久図書館	1,656		尾久図書館	855		尾久図書館	1,052
	町屋図書館	303		町屋図書館	718		町屋図書館	914
	日暮里図書館	1,722		日暮里図書館	1,580		日暮里図書館	1,198

指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		24年度	25年度	26年度	27年度 見込み	目標値 (28年度)	
①							
②							
③							

（問題点・課題分析）	・施設の長寿命化を図り、快適に利用できる施設を維持するため、点検業務報告書を活用した計画的な修繕が必要である。
他区の実況	（実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区）

問題点・課題の改善策			
	平成26年度に取り組む具体的な改善内容	平成26年度に実施した改善内容および評価	平成27年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	老朽化した設備の計画的修繕及び機械の交換を実施する。	点検業務報告書を活用し、計画的な修繕を実施した。	老朽化した設備の計画的修繕及び機械の交換を実施していく。
②	中長期計画で位置づけられた改修を検討する。	中長期計画で位置づけられた改修の検討を行いつつ、施設の長寿命化を図る修繕を実施した。	中長期計画で位置づけられた改修を実施していく。
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
27年度	28年度	
推進	継続	老朽化が進み、施設の維持が必要なため、継続して取り組む必要がある。

況議 会 （要 質 問 状）	H25予特 荒川図書館の男子トイレの改修
-------------------------------	----------------------

事務事業分析シート（平成27年度）

No1

主要事業	事務事業コード	04-05-09	戦略プラン	○協働	○業務	○財務	○人事
事務事業名	図書館施設の改修		部課名	地域文化スポーツ部図書館課	課長名	田窪	
			担当者名	森（祐）・狩野	内線	436	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（27年度）	01-04-02	営繕費（施設改修分）					
事務事業の種類	○新規事業（○27年度 ○26年度）			○建設事業		●それ以外の継続事業	
開始年度	●昭和 ○平成 37年度		根拠				
終期設定	○有 ●無 年度		法令等				
実施基準	○法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準			計画区分	○計画 ●非計画		
行政評価事業体系	分野	Ⅱ 子育て教育都市					
	政策	04 心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成					
	施策	13 図書館サービスの充実					
目的	図書館施設の適切な維持管理を行い、施設の長寿命化を図ると共に、安全面での利用者サービスの向上を図る。						
対象者等	図書館利用者						
内容	図書館施設の施設改修工事費等を計上 平成25年度の改修工事 ・町屋図書館 窓ガラス飛散防止改修工事 2,034,900円 ・日暮里図書館 昇降機設備改修工事 16,695,000円 ・日暮里図書館 窓ガラス飛散防止改修工事 2,774,276円 平成26年度の改修工事 ・尾久図書館 外壁及び屋上防水改修工事 20,088,000円						
経過	昭和37年 3月 荒川図書館開設 昭和46年 9月 尾久図書館開設 昭和51年10月 町屋図書館開設 昭和54年 6月 日暮里図書館開設 平成10年 5月 南千住図書館開設 平成19年 9月 汐入図書サービスステーション開設 平成21年11月 冠新道図書サービスステーション開設 平成22年12月 汐入図書サービスステーションの拡張 平成25年10月 汐入図書サービスステーションの拡充						
必要性	建物の老朽化が進む中で、施設を維持するためには不可欠な経費である。						
実施方法	（一部委託） （直営の場合 ○常勤 ○非常勤 ○臨時職員） 営繕課に執行委任して工実施（大規模修繕については所管課で対応）						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	予算額		9,234	48,550	72,715	22,263	23,168	22,425
①決算額（27年度は見込み）		7,161	48,489	71,463	20,721	21,504	20,748	4,934
②人件費等		1,751	1,308	3,388	2,891	3,327	5,408	
③減価償却費			436	1,244	1,129	1,352	2,276	
【事務分担量】（%）		25	15	40	35	40	70	
合計（①+②+③）		8,912	50,233	76,095	24,741	26,183	28,432	4,934
特定財源の推移	国	0	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	8,912	50,233	76,095	24,741	26,183	28,432	4,934
実績の推移	事項名	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	全館改修工事件数(件)	2	2	9	4	3	1	1
	入館者数(人)	1,256,398	1,341,244	1,343,444	1,311,706	1,291,384	1,288,224	1,300,000

予算・決算の内訳								
平成25年度（決算）			平成26年度（決算）			平成27年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
工事請負費	日暮里エレベータ等	21,504	工事請負費	尾久外壁屋上防水工事	20,748	工事請負費	南千住空調修繕	4,934

指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		24年度	25年度	26年度	27年度 見込み	目標値 (28年度)	
①							
②							
③							

（問題点・課題分析）	・尾久図書館、町屋図書館、日暮里図書館はいずれも建設後の経過年数が30年以上となっており、老朽化が進んでいるため、各館の特色を活かしつつ、荒川区公共建物中長期改修実施計画及び今後の公共施設のあり方の検討を踏まえ、改修を実行していく。
他区の実況	（実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区） ・文京区立真砂図書館 平成27年6月から平成28年6月までリニューアル工事予定 ・練馬区平和台図書館 平成27年7月から平成28年4月まで大規模改修予定

問題点・課題の改善策			
	平成26年度に取り組む具体的な改善内容	平成26年度に実施した改善内容および評価	平成27年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	尾久図書館の外壁・屋上防水改修工事を実施する。	尾久図書館の外壁・屋上防水改修工事を実施した。	中長期改修計画に基づく日暮里図書館の給排水工事を含む全面リニューアルを検討する。
②			
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
27年度	28年度	
継続	継続	老朽化が進み、施設の維持が必要なため、継続して取り組む必要がある。

況議 （会 要質 旨問 状	・H25予特 尾久図書館の建替えについて ・H26予特 宮前公園の整備に伴う尾久図書館の建替えについて 町屋図書館のトイレのバリアフリー化について
---------------------------	---

事務事業分析シート（平成27年度）

No1

主要事業	事務事業コード	04-05-10	戦略プラン	○協働 ○業務 ○財務 ○人事	
事務事業名	図書サービスステーション	部課名	地域文化スポーツ部図書館課	課長名	田窪
		担当者名	森永	内線	436
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（27年度）	01-98-98	図書サービスステーション管理運営費			
事務事業の種類	○新規事業（○27年度 ○26年度）		○建設事業	●それ以外の継続事業	
開始年度	○昭和 ●平成	19年度	根拠	荒川区立図書館図書サービスステーション運営要綱	
終期設定	○有 ●無	年度	法令等		
実施基準	○法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準		計画区分	●計画 ○非計画	
行政評価事業体系	分野	Ⅱ 子育て教育都市			
	政策	04 心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成			
	施策	13 図書館サービスの充実			
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・近くに図書館がないため、図書館サービスが行き届きにくいと思われる地域に図書サービスステーションを設置し、図書館サービスに対する区民の利便性の向上を図る。 ・急増している子育て世代に対する子育て教育環境の整備（汐入地域） ・商店街の空き店舗を活用し、商店街振興に寄与する。 				
対象者等	図書館利用者				
内容	<p>汐入図書サービスステーション(荒川区南千住8-12-5 べるぽーと汐入東館1F109・113・114号室) ※社協が運営する「おもちゃ図書館」と隣接 面積:124.07㎡ 開館日:平成19年9月8日 業務内容:利用者登録、検索、予約、貸出、返却 蔵書冊数 図書12,922冊、雑誌433冊(H27年4月1日) 26年度入館者数:176,006人(1日当たり591人) 貸出者数:76,240人(1日当たり256人)</p> <p>冠新道図書サービスステーション(荒川区西日暮里6-25-14) 面積:181.44㎡ 開館日:平成21年11月14日 業務内容:利用者登録、検索、予約、貸出、返却 蔵書冊数 図書11,791冊、雑誌504冊(H27年4月1日) 26年度入館者数:64,094人(1日当たり215人) 貸出者数:39,094人(1日当たり131人)</p>				
経過	<ul style="list-style-type: none"> ・「これからの図書館調査懇談会報告書」（平成18年4月）において、SS設置の提言を受けた。 ・「荒川区基本計画」（平成19年度～平成28年度）「図書サービスステーションの設置」を掲げる。 ・「あらかわ刷新プラン」（平成17年度～21年度）及び「荒川区実施計画」（平成19年度～平成22年度）において、平成19年度に「図書サービスステーションの設置」を掲げる。 ・平成19年9月8日 汐入図書サービスステーション開設 ・平成21年11月14日 冠新道図書サービスステーション開設 ・平成22年12月18日 汐入図書サービスステーションのフロアの拡張を実施し蔵書の充実を行った。また、拡張したフロア部分に「柳田邦男さんおすすめ絵本コーナー」を設置した。 ・平成25年10月1日 汐入図書サービスステーションのフロアを拡充するとともに、2,500冊程度の蔵書の充実を図った。 				
必要性	近くに図書館が無く、図書館サービスが行き届きにくい地域に図書館サービスを提供するため、必要性が高い事業である。				
実施方法	(1直営) (直営の場合 ●常勤 ●非常勤 ○臨時職員)				

(単位:千円)

予算・決算額等の推移		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	予算額		48,879	43,980	23,001	19,711	25,659	22,268
①決算額(27年度は見込み)		31,931	38,410	21,166	18,646	24,882	22,132	0
②人件費等		13,537	11,860	15,307	2,478	4,990	2,318	
③減価償却費			4,939	7,309	968	2,028	975	
【事務分担量】(%)		239	170	235	30	60	30	
合計(①+②+③)		45,468	55,209	43,782	22,092	31,900	25,425	0
特定財源	国	0	0	0	0	0		
	都	0	0	0	0	0		
	その他	0	3,789	1,349	1,284	1,277		
	一般財源	45,468	51,420	42,433	20,808	30,623	25,425	0
実績の推移	事項名	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	入館者数(人)	148,438	162,755	189,854	188,942	180,329	176,006	180,000
	冠新道	17,426	51,407	5,1610	53,966	56,483	64,094	64,500
	個人貸出者数(人)	67,652	70,966	77,115	75,779	75,770	76,240	77,000
	冠新道	8,725	30,368	32,031	33,402	35,415	39,094	40,000

予算・決算の内訳								
平成25年度（決算）			平成26年度（決算）			平成27年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
使用料等	建物賃貸料等	12,001	賃金	臨時職員賃金	3,004			
需用費	図書その他消耗品等	6,824	需用費	図書その他消耗品等	4,634			
賃金	臨時職員賃金	2,750	役務費	電話料等	251			
委託料	図書館システム保守等	1,645	委託料	図書館システム保守等	1,971			
備品購入費	書架等	1,288	使用料等	建物賃借料等	12,272			
役務費	電話料等	374						

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		24年度	25年度	26年度	27年度見込み	目標値(28年度)	
標	① 汐入個人貸出者数（人）	75,779	75,770	76,240	77,000	78,000	
	② 冠新道個人貸出者数（人）	33,402	35,415	39,094	39,500	39,500	
	③						

（問題点・課題分析）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 汐入図書SSについては、平成25年10月にフロアの一部拡張を行った。両SSとも質の向上を目指し、資料の入れ替え等に力を入れるとともに、利用促進のPRに努めていく。 ・ 区内全域に図書館サービスを行き届かせるため、SSの設置または新たなサービスを検討していく。
	他区の実況 （実施 4 区 未実施 18 区 不明 0 区） 類似する施策として、駅前等サービスコーナーの設置事例がある区 品川区、杉並区、豊島区（図書の返却及び予約本の貸出業務のみ）、足立区

問題点・課題の改善策			
	平成26年度に取り組む具体的な改善内容	平成26年度に実施した改善内容および評価	平成27年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	配架後数年が経過したことで、貸出回数が増えた資料を入れ替え、魅力ある書架にする。	書架の入れ替えを実施し、蔵書の充実を図ったところ、SSの貸出者数が前年度を上回った。	魅力あるSSづくりのためのコーナー設置、蔵書の入れ替えを進める。
②	尾久地域のサービスステーション開設を検討する。	尾久地域のサービスステーション設置に関する検討を行った。	近くに図書館がない地域へのサービスステーション設置等新たなサービスを検討する。
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
27年度	28年度	
継続	継続	区民の身近な場所で図書館サービスを提供するため、優先度の高い事業である。

況議 （会 要 質 問 状）	<ul style="list-style-type: none"> ・ H24決特 都立汐入公園内における（仮称）汐入図書館の設置について ・ H25決特 尾久地域における図書サービスステーションの設置について
-------------------------------	--